

玉造地区商店街活性化プロジェクトチーム

事務局 中野 雅二

(新日本カレンダー株式会社 企画・広報室長)

好評につき第2弾！

玉造地区4商店街が女子学生と創った365日がおトクになるカレンダー！

(産官学連携 玉造地区商店街活性化プロジェクト)

玉造地区の4商店街（玉造商店会・玉造日之出通り北商店街・玉造日之出通り南商店街・玉造日之出通り南商店街）が、商店街と地域の活性化を目的とし、近隣の大阪女学院大学・短期大学と連携し、同じく近隣の新日本カレンダー株式会社の協力を得て、2015年版の日々がクーポン券になった日めくりカレンダーを昨年に引き続き制作しました。

また今年度版は、4商店街の店舗以外に、JR玉造駅と商店街を結ぶ横丁（玉造幸村ロード）の6店舗もクーポン掲載店として参加しており、消費者にとってはより充実したものとなっています。

今年度も、一過性のイベントではないお客様を集める本格的な活性化策として、このプロジェクトは昨年に引き続き、以下の3つを重要ポイントとして計画されました。

1. 単発ではなく長期間の活性化

日めくりカレンダーがクーポン券になっており、年間を通して『毎日がおトク』という認識を顧客に持っていただき、継続的に来客を促すことが期待できる。

2. サービス（クーポン）内容に女子学生の発想の取り入れ

女子学生の発想を取り入れ、学生自身が『これなら行きたい！』と思えるサービスを商店と一緒に考えクーポンにすることで、若い顧客層の来店が期待できる。

3. 店舗単位での継続的な販促の一環として（毎日どこかの店舗が主役に）

クーポン対象日に来店された顧客に対し、店舗独自のサービス提供によるリピーター顧客化を実現するツールとして期待できる。

これら3つを重要ポイントとし、単に『人』を集めるのではなく、『買っていただけるお客様』を増やし、商店街の活性化、そして地域の活性化を最大の目的としています。

既に、昨年作成したクーポンの効果や今年度分のサービス内容の打ち合わせ等の為、商店街には多くの女子学生が頻繁に往来しており、高齢者比率の高い商店街顧客のイメージに変化が生じ、老若男女が万遍なく行き来する商店街へと変貌しつつあります。

今回製作した日めくりカレンダーの特徴

- ・卓上でも壁掛けでも使用できるコンパクトなデザイン
スタンド（タテ 175mm, ヨコ 95mm）
カレンダー本体（タテ 115mm, ヨコ 82mm, 厚さ 20mm）枚数：397枚
- ・日めくり自体がクーポン券として使用できる（一部の日を除く）
- ・毎日のデザインが内容、字体含めすべて学生および商店主のオリジナル
- ・日めくりカレンダーとしては“禁断の”同一日が複数枚存在（全375日分オトク！）

当プロジェクトスタートのきっかけ

このプロジェクトは、2012年10月に当プロジェクトの事務局、新日本カレンダー株式会社企画・広報室 中野雅二のアイデアによりスタートした。大阪女学院大学や4つの商店街各協同組合代表の賛同を得、また勤務先の宮崎社長の製作コスト面による協力も取り付け、昨年12月1日に第1弾をリリースし、今回はその第2弾としてリリースします。

第1弾（2014年度版）の効果

アンケートより抜粋

- 『おなじみさん』ではない新規顧客『ご新規さん』が明らかに増加！
- マスコミ報道による注目度UPは、来店者の反応からもはっきりと実感！
- 女子学生が商店街をうろうろしており、通りの雰囲気自体が華やかに！
- 高額商品を扱っているため即決とはならなかったが、新規の商談が増加！
- 洋菓子店ではバレンタイン商品を例年以上に仕入れたが、早々に完売、品切れに！
- 洋食店ではランチ割引に普段の3倍の顧客による行列ができ、もちろん完売に！

etc.

新たな効果（膨らむ可能性）

昨年第1弾をリリース後、マスコミ報道やWebサイトでの紹介、商工会議所における事例発表会等による反響や、全国への波及効果は想像以上に大きく、近畿圏の大阪、奈良、和歌山、兵庫はもとより、北海道旭川、東北山形等、各地方の商店街協同組合や自治体、印刷関係企業やNPO法人等から、多くの問合せや相談、また具体的な見積もり依頼等を頂戴しております。

当商店街におきましても、このクーポン付き日めくりカレンダーを通じ、他の自治体へのサンプルの発送等、すでに全国の商店街との新たな交流が生まれています。

今後、お互いの商店街で利用できる交換クーポンの製作や、新たな協働での活性化事業の企画・開発等、地方創生の起爆剤となる可能性をも感じており、大阪発の、商店街が核となる地方再生ネットワークの構築へと、さらに夢は膨らんでいます。

プロジェクトチームの構成

参加商店街

- ・玉造商店会 会長：若林 照夫(グリル東洋軒)
- ・玉造日之出通り北商店街協同組合 理事長：小橋 忠(三和ガスセンター)
- ・玉造日之出通り中商店街協同組合 理事長：岡田 安弘(洋菓子オカダヤ)
- ・玉造日之出通り南商店街協同組合 理事長：三谷 政子(ビリヤード日の出俱樂部)

参加大学

- ・大阪女学院大学・短期大学 学長：加藤 映子
大阪市中央区玉造 2 丁目 26-54
- ・参加学生数：30名 リーダー：国際・英語学部3年生 橋内 かな子

カレンダー製作

- ・新日本カレンダー株式会社 代表取締役社長：宮崎 安弘

参加商店数（掲載店数）

玉造商店会	13店舗 / 18店舗
玉造日之出通り北商店街	24店舗 / 46店舗
玉造日之出通り中商店街	16店舗 / 24店舗
玉造日之出通り南商店街	6店舗 / 10店舗
玉造幸村ロード(駅前横丁)	6店舗 / 6店舗
その他(幸村ロード協力店)	1店舗 / 1店舗

計66店舗が参加(複数日参加有り) 66/105 参加率63%

製作冊数

- ・3, 000冊(新日本カレンダー株式会社より無償提供)

配布方法

(配布冊数は予定)

11月22日(土)・23日(日)

- ・大阪女学院大学・短期大学の学園祭にて来校者に配布。(300冊)

12月8日(月)

- ・年末大売出しに合わせ、北商店街抽選会場にて先着順に配布。(100冊)
(新聞チラシ、ポスター、Webサイト等による告知あり)
- ・年末大売出しに合わせ、中商店街にて集中配布。配布方法は現時点では未定。(100冊)
(年末大売出しチラシに告知予定。)

12月8日(月)～12月20日(土)の売り出し期間中

(期間合計 1,500冊以上)

- ・各掲載店舗において、独自の配布基準・イベント等を企画し、共同、もしくは店舗単位で配布。

11月中旬

- ・大阪市立真田山幼稚園で、全園児の保護者に配布。(170冊)

12月18日(木)

- ・大阪市立真田山幼稚園で、地域のお年寄りが集う『お楽しみ会』にて配布。(130冊)

主催

・玉造地区4商店街、大阪女学院大学・短期大学

製作協力

・新日本カレンダー株式会社

後援

・天王寺区役所（平成25年10月3日付け 後援名義使用承認済み）

協力

・大阪商工会議所（平成25年10月21日付け 協力名義使用承認済み）

問い合わせ窓口

●商店街問い合わせ窓口

玉造日の出通り中商店街協同組合 理事長:岡田 安弘(洋菓子オカダヤ)

Tel/Fax : 06-6762-1926

●大学問い合わせ窓口

大阪女学院大学・短期大学:崔 大龍(チェ デリョン)(副学長)

廣澤 幸男(キャリアサポートセンター長)

Tel : 06-6761-6093(ダイヤルイン) Fax : 06-6761-6094

●プロジェクト全般問い合わせ窓口(プロジェクト事務局)

新日本カレンダー(株) 総務本部 企画・広報室長 中野雅二(マサツグ)

Tel : 06-6972-5888 Fax : 06-6972-9265

●当プロジェクト専用 Web サイト

<http://www.543life.com/tss/>

添付資料

1. プロジェクト告知ポスター(縮小版)
2. プロジェクト企画書
3. 2015年版クーポン付き日めくりカレンダー

以上